

# 食品新聞

発行所 食品新聞社  
http://www.shokuhin.net/  
大阪府北区西天満5-10-17  
電話 06(6361)4972  
東京 都営区大塚1-1-8  
電話 03(3552)3756-4031  
名古屋市中区丸の内2-10-11  
電話 052(221)5391  
支店 広島・福岡  
©食品新聞社 2019  
THE JAPAN FOOD NEWS  
創刊 1953年

### 世界の海苔を... 世界の人人々に

国際海苔商協会の信頼と実績の株式会社 ヤマコ

### きょうの主な内容

「スーパー第1Q」4社増収も増え続ける  
「上半期市場は11%増」(中国版) 5面  
「上旬市場は11%増」(日企企画) 8面

## 国分グループの低温卸・ナックス

国分グループの低温卸・ナックス(相馬義典社長)は、仕入先メーカー・物流企業を組織する「第14回全国NN会」の席上、今期からイオングループの西日本エリアにおけるフロアでの取引拡大を報告した。対象カテゴリーは市販冷凍食品、アイス、デリカ等で年間取引額560億円増を見込む。

# イオングループとの取引拡大

## 西日本のフロアズン帳合 年間560億円規模を受託

001(物)、経営利益 用27億円(1001:1 ナックスでは今期から7億5千万円(69.8%)▽子会社は8億7千万円(86.2%)。今期はイオングループの取扱高は市販冷凍食品33億8千万円(106.5%)。組み拡大により、事業規模は大幅に拡大見込まれている。相馬社長は「101・8(物)▽野菜、454億円(103%)。社長は主要任先メーカー▽ベーカーリー57億円(81)のトップを前に「アイディア」▽そのほか業務システムとの取引拡大は、

## 味の素「勝ち飯」新展開

### アスリートから生活者へ

味の素社は、世界で活躍するトップアスリートの栄養管理の観点から考案された「勝ち飯」を、今年から量販店や外食でも展開。地域と価値を共有するASV(Athlete Shared Value) Group Shared Valueの考え方も運動させ、地方への広がりにも生かしている。



## キリンビール

# 日本産ホップ栽培100年

## 東北では新規就農促進も

今年、キリンビールが日本産ホップ栽培を始めてから100周年に当たる。同社では国内産ホップの取り組みを、その後の「醸造」から「栽培」まで、一貫して推進している。1950〜70年代には国内産ホップの影響を受けて輸入ホップが不安定となり、ビール各社は農家にホップ栽培を依頼。作付面積は増え、70年代初期をピークに面積は減少の一途をたどってきた。



減少の背景として、キリンビール酒造技術研究所の村上敦司博士(写真)は、高品質のホップを栽培する上で、気候・土壌・肥料のバランスが重要だと指摘。東北、北海道で栽培されたホップは、現在国内産の9割を占めている。1989年から販売しているIBUキが中値値を共有している。

## ハナマルキとコラボ 「だしを愉しむおみそ汁」



ハナマルキは9月1日、にんべんとコラボレーションで、各革新と提案を磨き、新たな価値を創造に貢献する「だしを愉しむおみそ汁」を発売する。にんべんが即席みそ汁とコラボレーションするのは初めて。最高級の席みそ汁の好みに合わせて、約8割が「だしがしっかり効いている」と回答した。そこで、同社は「だしを愉しむおみそ汁」を注目の今年、創業30周年を迎えるにんべんの周年を記念して、にんべん本社と協業して、全国のスーパードラッグストアに即席みそ汁を販売する。年間売上目標は30万袋。

## 逆光線

明、家を減税導入により、出で電車でたまたま現場での混乗、出で電車でたまたま現場での混乗、出で電車でたまたま現場での混乗...

## ACCESS VALUE

まだ、届けていない価値がある。

食の未来はどんなだろう。野菜もお肉もお魚も、飲み物もお惣菜もスイーツも毎日どんどん美味しくなっていく。一流レストランの美味しさが我が家にもやってくるかもしれない。健康的で美しい日本の食が海を越えて行く。その時、世界はどんな笑顔を見せてくれるだろう。私たち日本アクセスは食の総合卸企業として「まだ、届けていない価値」を探求し、食の未来を見つめています。

心に届く、美味しさを  
**日本アクセス**  
株式会社 日本アクセス http://www.nippon-access.co.jp/